

KAGAWA アンバサダーからのお便り～飛鳥童さん～

今年4月に私の念願の自叙伝が出版されました。

この本は私が長年カナダで絵本の創作活動をしていた際、トロントで日本語新聞週間「日加タイムス」を発行していた編集長から「飛鳥さんの生き方を連載エッセイに纏めてほしい」との依頼を受けて書いたものです。

ちょうどタブロイド版新聞紙からオンラインで発信する「e-nikka」に切り替えたばかりで、カナダ国内のみでなく日本、南米、アメリカを含む世界中にある日系人社会にもオンラインで届けられました。

1週間に1回とはいえ、1年間の連載を書き続けることが出来るかどうか不安はありましたが、生い立ちから現在まで世界中を渡り歩き、多くの人たちに出会った記憶を辿っていくうちにどんどん書きたいことが溢れ出てきました。

また、数カ月後には世界中の読者から出版社に「面白いので1冊の本にまとめてほしい」、「私の部下がロンドンとマドリッドで所長をしているので、貴方の生き方が面白いので読むように薦めましたよ」とトロント国際交流基金所長からも嬉しい報告が届きました。

その他にも多くの読者からの良き反応に鼓舞され、1年間の連載予定が4年間にも及んでしまいました。

連載を終えて本気で連載エッセイを出版することを決め、その為に40年間住み慣れたカナダを引き払い、日本に帰ってきました。

らくがき わらべの楽苦画記

絵本作家／アーティスト・飛鳥童の人生行路

飛鳥 童
ASKA MOON



世界的な絵本作家の ドラマチックな半生記

身体的ハンディでいじめや差別を受け幼稚園をドロップアウトした幼少期から、国内外でデザイナー、イラストレーター、アーティストとして活躍を現し、やがて世界的な絵本作家となって故郷に帰るまでを描く。

文芸春秋文庫 370頁 2025年4月

『わらべの楽苦画記』

(文芸社) 帯付き表紙

4月に『わらべの楽苦画記（らくがき）』～絵本作家／アーティスト・飛鳥童の人生行路～（文芸社、406ページ）が出版され、アマゾン、丸善、紀伊國屋書店などから電子書籍として発信されています。

「ハンディを乗り越え、ポジティブ思考で努力して信念を貫けば世界でも勝負できるよ」のメッセージを込めています。

2025年6月30日～7月9日：珈笛画廊ほのほ「飛鳥 童の世界展」を開催しました。

2025年10月3日～11月30日：宇多津・四国水族館にてカナダ、アメリカで出版された絵本「Aska's Sea Creatures」（Doubleday Toronto, New York、カナダで最も権威ある「カナダ総督文学賞」（カナダ総督＝エリザベス女王御名代）絵本部門最終候補作）の展覧会「飛鳥童が描いた海の生き物たち」が開催されます。

10月19日（日）13:30～14:30、ギャラリー・トークでは私が展示作品に秘められている隠し絵の種明かしをします。今年の「瀬戸内国際芸術祭」秋会期開催地・宇多津の関連イベントとして実施されます。

<https://shikoku-aquarium.jp/pressrelease/archive/892/>



絵本の表紙『Aska's Sea Creatures』
(Doubleday Toronto, New York)



飛鳥 童（あすか わらべ）さん

高松市出身。

代表作の一つで高円宮妃久子殿下共作『冰山ルリの大航海』は、13ヵ国語に翻訳出版され、ミュージカル、朗読コンサート、オペラコンサートとして上演されている。2019年に約40年に渡るカナダでの生活を終えて帰国し、現在は故郷の高松で創作活動を行う。

◇KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。